

令和6年度事業の行政評価

事業名	街路樹の管理	所管	都市基盤部 公園課
-----	--------	----	--------------

事業概要

基本計画の 位置付け	政策	18	快適で魅力ある住環境をつくる
	施策	47	まちなかの安全性・快適性の向上
	区政運営	—	—
根拠法令等	道路法		
個別計画等	—		
予算科目	款 9 項 1 目 4 事務事業 1 事業 公園維持・管理		
対象者	区民	事業方式	委託
目的 (効果)	車両や歩行者の通行しやすさを確保し、街路樹を良好に保つための管理	事業の 始期-終期	開始 — 年度 終了予定 — 年度
実施内容 (6年度)	○ 街路樹植樹帯管理委託 中高木剪定1,898本、植樹帯刈込14,510㎡、補植4本/726株、病虫害防除240本/植樹帯470㎡、カラスの巣撤去など ※伐採は令和元～令和3年度の街路樹緊急樹木診断調査委託に基づき、段階的に実施 ○ 街路樹植樹帯清掃除草委託 植樹帯内の清掃201,114㎡、植栽枿清掃4,212か所（清掃:年8回程度、清掃除草:年4回程度） （街路樹は道路管理課・道路建設課が道路付属物として管理し、街路樹の剪定・清掃との管理を公園課が実施。）		

事業のコストと人員

(金額単位:千円、()内は対前年度比増減率で単位:%)

	4年度	5年度	6年度	事業のコストの説明
事業のコスト (C-D)	81,979	78,091	84,914 (8.7)	主な内訳(6年度) 街路樹植樹帯管委託 55,141千円 街路樹植樹帯清掃除草委託 28,176千円
支出 (C=A+B)	81,979	78,091	84,914 (8.7)	
事業費 (A)	80,405	76,551	83,317 (8.8)	
人件費 (B)	1,574	1,540	1,597 (3.7)	主な増減(5年度から6年度) 街路樹植樹帯管理委託 +4,715千円 街路樹植樹帯清掃除草委託 +2,051千円
収入 (D)	0	0	0 (—)	
従事職員数				
常勤職員	0.2人	0.2人	0.2人	
短時間勤務職員	0.0人	0.0人	0.0人	
会計年度任用職員等	0.0人	0.0人	0.0人	
計	0.2人	0.2人	0.2人	

事業の実績・効果

(実績の()内は対前年度比増減率で単位:%)

指標	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	6年度実績
活動実績	中高木の剪定本数	本	1,812	1,792	1,885 (5.9)
	植樹帯の清掃面積	㎡	196,512	210,741	201,114 (△4.6)
単位コスト	街路樹(中高木)剪定の1本あたりのコスト	円	8,365	7,557	11,249 (30.9)
事業の効果	中高木の枯損木の補植本数	本	37	34	30 (△88.2)
	低木の枯損木の補植株数	株	850	650	450 (△57.5)
ユーザー視点	区民意識調査の生活環境で「景観や街並み」を良いと回答した人の割合	%	70.5	70.2	74.5 (5.3)

有効性(活動実績分析)、効率性(コスト分析)、適正性(適切性・必要性)

中高木1本あたりの剪定に要する費用については微増傾向にあるが、管理対象となる街路樹(中高木、植樹帯)について、生育状況や外的要因による状況の変化を把握しつつ、頻度を減らすことなく年間を通して中高木の剪定や清掃を継続して実施している。適切な剪定や清掃を実施することで枯損木の発生に伴う補植本数は減少傾向となっていることから、適正に街路樹の管理ができています。一方、景観や街並みに関する区民の生活環境に対する評価は概ね横ばい傾向なため、今後はさらに快適な道路空間づくりについて取組を進める必要がある。

次年度(令和8年度)予算編成に向けた評価

【事業の方向】	【理由】
継続	適期の剪定や清掃により適正な街路樹の管理ができています。今後も適切に街路樹の保全に努めるとともに、区民の生活環境がさらに向上するよう、区全体のみどりのネットワークを踏まえ、道路空間に緑を配置し、視覚的な変化をもたらすことや連続性をもたせることで、みどり豊かな空間形成に努めていく。